Rotary
Club of
Tokyo central park

2019-2020 年度　国際ロータリーテーマ　「ROTARY CONNECTS THE

第２５８０地区

東京セントラルパークロータリークラブ

The Rotary Club of Tokyo Central Park

Weekly Report

２０１９-２０２０年度 スローガン

「Welcome 100」

～ 奉仕と親睦で 100 周年を迎えよう ～

第１４回　（通算１７２１回）　２０１９年１１月１９日

◆◇◆　本日の例会　◆◇◆

〈1〉　開会点鐘・会長挨拶
〈2〉　ロータリーソング 「それでこそロータリー」
〈3〉　季節の歌 「冬景色」
〈4〉　ビジター紹介
〈5〉　幹事報告
〈6〉　10 月皆出席表彰　3 名
小林会員　18 年　　花形会員　5 年
川松会員　1 年
〈7〉　10 月ニコニコ大賞　野口会員
〈8〉　出席状況報告
〈9〉　メークアップ報告
〈10〉　委員会報告
〈11〉　ニコニコ BOX 報告
〈12〉　閉会点鐘

◆◇◆　本日の卓話　◆◇◆

本日の例会　「 ローターアクトの活動報告 」
地区ローターアクト代表　　森本信成様

11 月 25 日（月）　「 中央分区 IM 」

次回の例会　〈12/3〉　「 クラブ年次総会 」

◆◇◆　先回の例会記録　◆◇◆

2019 年 11 月 5 日　第 13 回　（通算 1720 回）

開会点鐘　萱森会長　　27F 「エクセレンス」

＊ゲスト紹介　1 名　石川幸男様（卓話講師・地区ポリオプラス委員長・東京荒川 RC）

＊ビジター紹介　2 名　Hellmann Andrea 様（ドイツ Muuich-LehelRC）/藤原隆宏様（東京神宮 RC）

出席　28 名　　欠席　6 名　　出席率 82.35%

補正出席率（10/29）　79.41%

◆◇◆　幹 事 報 告　◆◇◆

① コーディネーターニュース１１月号が来ています。興味のある方は事務局までお問い合わせ下さい。

② ガバナー月信１１月号を皆様に送っています。お時間があるときに是非見て下さい。

③ 東日本大震災被災地復興支援[気仙沼視察]の案内が来ております。日時は３月２６、２７日で例会に参加して、市内視察後懇親会で翌朝解散です。興味のある方は、事務局まで連絡願います。

④ バギオだより第７５号が来ております。必要な方は事務局まで連絡願います。

⑤ １１月はロータリー財団月間です。国際ロータリー日本事務局からリソース案内が届いておりますので、必要な方は事務局まで連絡して下さい。

⑥ １１月のロータリーレートは１ドル１０８円です。

第５回理事会議事録

2019 年 11 月 5 日（火）11：00～27F「アプローズ」にて第 5 回理事・役員会を開催しました。

出席者：萱森、佐野、榎本、渡辺、杉本、深谷、橋本、花形、松林、阿部、小野、塚本

（以上 12 名）

議題

1. １０月会計報告に関して
   榎本会員より資料を元に報告。
2. １１月度卓話スケジュール
   渡辺会員より資料を元に報告。
3. ２月 12・13 日開催の沖縄地区大会
   花形国際奉仕委員長より行程の説明、萱森会長より現在参加予定者を発表。今後、花形国際奉仕委員長より参加不参加の連絡が無い方に確認をしてもらう。また、クラブ会員の食事会は２月１３日とした。
4. 11 月 25 日開催の IM に関して
   １１月１１日の事前打合せ参加者は、ガバナー補佐、分区幹事、分区副幹事、会長、幹事、IM 支援委員会の 8 名。
   また 25 日当日は当クラブより７名のアテンドが必要で、古川会員、榛村会員、野口会員（IM 支援委員会）、阿部会員、杉本会員、深谷会員、中山会員とする。
5. 12 月 17 日「家族親睦忘年会」に関して
   予算、会費について会長、幹事より説明。承認。進行いついては、子供のプレゼントはアトラクション前に、最後の挨拶については、次年度ガバナー補佐を招待しお願いすることとした。
6. その他

① 記念日の花の件
1 月より結婚記念日と奥様の誕生日の２回とし、記念品は３５００円で親睦委員長が決める事とし、総会にて承認を頂く事とする。

② 1 月 7 日例会の特別料理の件
例年通りで承認。

③ 3 月開催「日台 R 親善会議」の件
全会員に配信し、本日の幹事報告で参加を促す事とする。

④ 固定化している席次の件
１２月から試験的に毎回行う事とし（クジ引きにて席次を決める）、本日幹事報告する。

⑤ 消費税 10%に伴うビジター費の件
ビジターの例会費については、消費税アップに伴い実費と同額にする。

以上の通り、ご報告いたします。

幹　事　　小野博文

会長ノミニー推薦指名委員会

2019年11月5日（火）12：00～27F「アプローズ」にて会長ノミニー推薦指名委員会を開催しました。

出席者；萱森、富永、松林、橋本、勝俣、塚本、宮坂、書記：小野幹事　（以上　8名）

萱森会長より、2021-2022年度会長推薦者に榎本会員を指名。全会一致で可決。

クラブ諮問委員会

2019年11月5日（火）12：15～27F「アプローズ」にてクラブ諮問委員会を開催しました。

出席者；萱森、小林、前田、古内、渡辺、古川、富永、松林　書記：小野幹事　（以上　9名）

萱森会長より、会長ノミニー推薦委員会で榎本会員を指名した事を報告。　全会一致で可決。

以上に通り、ご報告いたします。

書記/幹事　小野博文

◆◇◆　先 回 の 卓 話　◆◇◆

「ポリオ撲滅とロータリーの医療活動について」

地区ポリオプラス委員長　　石川幸男様

◆◇◆　先 回 の 例 会 よ り　◆◇◆

マルチプルの認証バッジを会長より受ける
佐野会員と古内会員

11月のお誕生日・結婚記念日の皆さん

ドイツからお越しのヘルマン.アンドレアさん

10月「在京・地区社会奉仕全体会議」に出席
安田社会奉仕副委員長より会議内容の報告

◆◇◆　ニコニコBOX報告　◆◇◆

小林会員：ニコニコと。

今週の合計	1件	5,000円
2017～19年の累計		2,512,420円

―事務局からのお知らせとお願い―

＊ 例会欠席の場合は、前日までに事務局にご連絡下さい。

例会日　月3回 火曜日　12：30～13：30
例会場　ハイアットリージェンシー東京
会　長　萱森　由美　　**副会長**　佐野　礼治
幹　事　小野　博文　　**会報委員長**　宮坂　唯之
事務局　〒166-0004
東京都杉並区阿佐ヶ谷南1-34-6 新東京会館
TEL（03）3312-4959　FAX（03）3312-4958
E-mail: info@tokyocentralpark-rc.com
http://www.tokyocentralpark-rc.com/

季節の歌

「 冬 景 色 」

文部省唱歌

さ霧消ゆる　湊江（みなとえ）の

舟に白し　朝の霜

ただ水鳥の　声はして

いまだ覚めず　岸の家

烏（からす）啼（な）きて　木に高く

人は畑（はた）に　麦を踏む

げに小春日（こはるび）の　のどけしや

かへり咲（ざき）の　花も見ゆ

嵐吹きて　雲は落ち

時雨（しぐれ）降りて　日は暮れぬ

若（も）し灯火（ともしび）の　漏れ来（こ）ずば

それと分かじ　野辺（のべ）の里

国際ロータリー第2580地区
東京セントラルパークロータリークラブ

END POLIO NOW
= いまこそポリオ撲滅のとき =
ロータリーの医療活動

令和元年 11 月 5 日
東京荒川ロータリークラブ
Rotary
2019年度第2580地区ポリオプラス委員長
石川　幸男

1

卓話の内容

1.ポリオとは

2.ロータリーのポリオ撲滅への歩み

3.KEEP INDIA POLIO FREE
2014年2月インドPOLIO FREEとなる

4.ポリオ撲滅に向かって

5.ロータリーの医療活動について

2

ミャンマー医療活動

【概要・目的】

ミャンマー国在留邦人の子どもたちの健康相談、アウン僧院付属小中学校の学童健診

3

ミャンマー医療活動

【日時および旅程】

- 2019年9月12日～16日
- 9月12日　羽田空港発00:40 バンコク着05:00
バンコク発 08:50 – ヤンゴン着 09:40
9月15日　ヤンゴン発18:20 – バンコク着 20:20
バンコク発21:55 –
9月16日　羽田空港着 06:05

4

ミャンマー医療活動

【活動内容】

9月12日
［ヤンゴン日本人学校での学童健康相談］

9月13-14日
［アウン僧院付属小中学校学童健診］
総勢1,100名でしたので、2日に分けて実施いたしました。

［学研ミャンマースクール学童健診］
比較的裕福な家庭の子が通う現地の塾での学童健診（50名）
＊健診結果については後日、データ（身長・体重・予防接種種歴など）を解析

5

2019年9月12日ヤンゴン医療活動スケジュール

2019年 9月12日（木）0:40羽田出発 バンコク乗り換え ヤンゴンへ
9:40到着後　テイー先生と合流
ヤンゴン日本人学校健康診断
19:00　米山学友と打ち合わせ

6

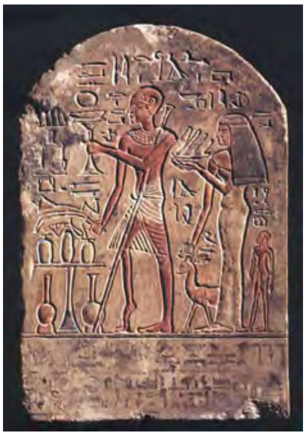
1．ポリオ（急性灰白髄炎）とは

デング熱やエボラ出血熱と同じようにウイルス性の感染症である。
ポリオ・ウイルスが中枢神経である脳の灰白部と脊髄をおかすのでポリオ（灰色）の名が付けられました。

ポリオウイルスは口から体内に入り、のどや腸管の粘膜で増殖します。
始めの数日間は風邪の様な症状から発熱が続き、足や呼吸器に麻痺が発症します。

脊髄性小児麻痺と呼ばれるのは、5歳以下の発症の確率が高いことからで成人も感染しうる病気です。

41



ポリオの歴史

B.C.1350 紀元前エジプトの壁画にみられるポリオ。

1905 スウェーデンで1000人以上の麻痺患者が発生。

1916 米国で流行。27,363人の麻痺患者が出て7,179人が死亡。

1948 日本では明治後期から10数年の間隔で流行。もっとも流行が大きかった1948～61年頃、年間のポリオ患者数は1000人～5000人、死亡者は100人～1000人に。

ポリオの流行

42

ポリオ（脊髄性小児麻痺）とは

- 感染経路：　感染者の尿や便などから排泄されたウイルスが手や指を介しまた、飲み物や食物などから口に入り感染する。
- 宿　　主：　人間のみ。動物を介するのではなく、人から人へのみ感染が拡がる。
- 発　　症：　100～200人に1人程度の確率で発症し、5～10人に1人の確率で終生麻痺が残る。呼吸器不全で死に至る場合がある。
- **治 療 法：　ない。 ワクチン接種による予防のみ。**
  ワクチンには、経口生ワクチンと不活化ワクチンの2種類がある
- ワクチンの効果：　一生有効。
- ウイルス株：　2型、3型のポリオ野生株は撲滅、残るは1型のみ。

43

Wikipedia及びThe Global Polio Eradication Initiative ©より

44

「経口生ワクチン」と「注射による不活化ワクチン」

Rotary　END POLIO NOW

	経口生ワクチン **1953年開発（リークワクチン）** **ポリオウィルスの病原性を弱めて作る**	**注射不活化ワクチン** **1955年開発（セービンワクチン）** **ポリオウィルスの病原性をなくしたもの**
値段	安い（63～113円）	高い(5,000円程度)
接種回数	2回	4回
接種技術	素人でも可能	医療技術者
免疫力獲得	獲得しやすい	獲得しにくい
ワクチンからの感染	あり（2017年は56例）	なし
使用すべき状況	大規模流行～小規模流行	散発期～終息期

昨年生まれた日本の子ども約97万7千人に4回接種をすると
約176億円の予防接種代が必要
（世界中でワクチン投与や予防接種が現在も継続しています）

45

3．ロータリーのポリオ撲滅への歩み

日本におけるポリオの状況

- 1959年　青森県八戸市でポリオが集団発症する。
- 1960年　日本での不活化ワクチン（ソークワクチン）の製造開始されたが十分にワクチンが提供できず、輸入不活化ワクチンを使用する
- 1960年　北海道夕張市・東北・九州でポリオ大流行、この年患者数約5，606人。
- 1961年　旧ソ連及びカナダから経口生ワクチン（セービンワクチン）1，300万人分を緊急輸入。（当時の古井厚生大臣の大英断による）
- 1961年　**世界で最初の徹底したNID（全国一斉投与方式）を実施。**
  患者数激減（患者数1960年5,060人→1963年139人→1965年76人）
  このNID（National Immunization Day）が、後にWHOによりポリオ根絶の世界戦略として採用される。
- 1964年　生ワクチンによる定期予防接種開始。
- 1981年　この年以降ポリオの発生なし。
- 2000年　WHOに対しポリオ根絶を報告。
- 経口生ワクチンを接種することで、稀にポリオ発症するケースがあった。（1989年度以降80件）
- **2012年9月　日本においてもポリオ不活化ワクチン投与が開始される。**
  不活化ワクチン導入が世界126ヶ国で進められています。

46

国際ロータリーのポリオ撲滅運動の主な出来事　1/2

- 1978年　RI75周年の記念事業として3Hプログラム開始（Health,Hunger and Humanity：保険、飢餓追放及び人間性尊重補助金）
- 1979年　フィリピンで生後3か月から36か月の子ども600万人を対象にﾎﾟﾘｵ予防接種ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄを開始
- 1980年　天然痘が地球上から撲滅された！（10年間で天然痘が撲滅された）
- 1982年　**東京麴町RCの故・山田彝（ﾂﾈ）氏と、故・峰英二氏の南ｲﾝﾄﾞでのはしかの調査報告から、ポリオ撲滅運動が提唱される。**
- 1985年　RIが、民間団体による初の国際的公共衛生ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ「ポリオ・プラス」というﾎﾟﾘｵ予防接種ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを開始し、1億2000万米ドルの資金投入を誓約。
- 1986年　WHO総会で2000年を目処に地球上でのポリオ根絶するという決議を選択する。当初ﾛｰﾀﾘｰは「撲滅」ではなく「抑制」という言葉を使っていた
- 1988年　ﾛｰﾀﾘｰがﾎﾟﾘｵﾌﾟﾗｽへ2億4700万米ﾄﾞﾙの募金に成功する。（当初の目標の2倍以上）
世界保健機構（WHO）、ユニセフ、米国疾病予防センター（CDC）が参加し、世界ポリオ撲滅推進計画の主要ﾊﾟｰﾄﾅｰになる。**以来、世界のポリオ発症数は、当初125ヶ国で発症し35万人の子供が感染。**
「世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）」を発足
- 1990年　米州地域、2000年　日本を含む西大西洋地域、2002年　ヨーロッパ地域でポリオ根絶宣言がなされる。

47

国際ロータリーのポリオ撲滅運動の主な出来事　2/2

- 2006年　ポリオ常在国の数が4ヶ国（ｱﾌｶﾞﾆｽﾀﾝ・ｲﾝﾄﾞ・ﾅｲｼﾞｪﾘｱ・ﾊﾟｷｽﾀﾝ）となり、人類史上最少数となる。
- 2007年　「全世界からのポリオ撲滅」をロータリーの最優先の目標にすることが発表される
- **2009年　ﾋﾞﾙ&ﾒﾘﾝﾀﾞ・ｹﾞｲﾂ財団がﾛｰﾀﾘｰに対して「2億ﾄﾞﾙのﾁｬﾚﾝｼﾞ補助金」として3億5500万米ﾄﾞﾙの資金提供を約束**
- 2013年　「ポリオ撲滅エンドゲーム戦略計画」を立ち上げる。（包括的な6ヶ年計画を策定）
- 2014年　2月　WHOから**ｲﾝﾄﾞﾎﾟﾘｵﾌﾘｰ**が発表される。**ﾎﾟﾘｵ常在国はインドに隣接するﾊﾟｷｽﾀﾝ、ｱﾌｶﾞﾆｽﾀﾝ。**
- 2016年　８月　ﾅｲｼﾞｪﾘｱで再び3症例の野生型ﾎﾟﾘｵの発症確認。常在国は3ヶ国となる。
- 2017年　９月　WHOからナイジェリアを野生型ポリオウイルスの常在国リストから除外し、**残る常在国は、パキスタンとアフガニスタンの2ヶ国となる**

48

ポリオ撲滅・エンドゲーム戦略計画 2013-2018

POLIO Eradication & Endgame Strategic Plan 2013-2018

1) 2015年までに
　野生株ポリオの絶滅
　経口ワクチンの徹底投与と終焉
　計画完遂の監視と確認
　専門機構と機能の動員

2）2017年までに
　ワクチン由来の感染源対策
　IPV（不活性化ワクチン）完全導入
　ポリオ絶滅の継続的監視
　感染症対策の地球的規範化

3）2018年　　地球上からポリオ撲滅宣言

END POLIO NOW

49

ポリオの流行状況（GPEIの確定数）

		2019.1.1～10.23	2018	2017	2016
常在国	パキスタン	**76**	12	8	20
	アフガニスタン	**18**	21	14	13
	ナイジェリア	**0**	0		4
常在国以外	赤道ギニア	0	0	0	0
	イラク	0	0	0	0
	カメルーン	0	0	0	0
	シリア	0	0	0	0
	エチオピア	0	0	0	0
	ソマリア	0	0	0	0
	合　　計	**94**	**22**	37	74

50

4.KEEP INDIA POLIO FREE
ポリオ根絶宣言

インドは、 野生ポリオウイルス常在国でありましたが3年間新たな感染が報告される事がなく、 2011年1月13日、西ベンガル州のラクシャーさんという3歳の女児の発症報告が最後となり、 **2014年2月、インドは3年間ポリオ発症ゼロが継続し、WHOはインドでのポリオ根絶を宣言しました。**

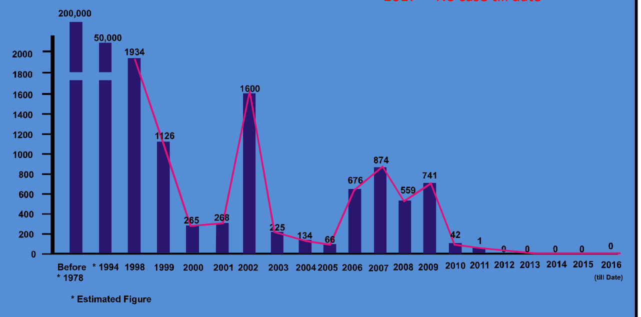
当初、全世界のポリオ発症国のうち、ポリオ撲滅が一番困難であると考えられていたインドでのポリオフリーは、ポリオ根絶を目指す上で、人類の勝利であると共に〝私たちに夢をあきらめない〟という勇気を与えるものでした。

51

WILD POLIO CASES IN INDIA

POLIO FREE INDIA 2014

2017 – No case till date



「インド国内ポリオ委員会　ロケシュ・ゲブタ事務局長資料から」

52

2019年3月10日インドNID活動スケジュール

2019年 3月8日（金） 成田出発当日夜インド着（空路10時間5分）

3月9日（土） ポリオ拠点病院のセント・ステイーブンス病院を訪問、マテイユー・バリエ先生より「 ポリオフリー後のポリオ拠点病院の活動 」についての講演を聞く。

3月10日（日） NID実施**（人口13億人のうち対象となる5歳以下の子供1億7，000万人にﾜｸﾁﾝ投与をします）**

3月11日（月） 個別訪問に参加し、夜のフライトで成田へ（空路7時間20分）

3月12日（火） 早朝成田着後解散

53

5. ポリオ撲滅に向かって

110

111

一つの 目標 計り知れない 恩恵

1985 年にロータリーがポリオ・プラスを開始 「プ ラス」とは？

他の 5 種類の伝染病（はしか、結核、ジフテリア、百日咳、破傷風）

ポリオワクチンを投与するキャンペーン

ワクチンを運搬、保存するための新しい 物流方法

新たなポリオ発症の発見を目的とする研究所や診療所 のネットワーク

ロータリーが立ち上げに寄与した世界ポリオ撲滅推進計 画（GPEI）

ポリオ・プラスの「プラス」は、ポリオが常 在する 4 か国での感染抑止にとどまらず、ポリオがこの世 からなくなった後にも、ほかの感染症との闘いを支えていく インフラと協力態勢という遺産をも意味しています。

112

113

ロータリークラブがブラジル全国でポリオとはしかの予防接種を支援

予防接種率の急激な低下を食い止めようと 会員が1100万人の子どもへの予防接種に立ち上がる

114

ロータリーのリーダーは、まひを起こさせる病気の危険から何百万人もの子どもを救うため、予防接種を行う保健ワーカーを支援しようと立ち上がりました。ブラジルのロータリーリーダーは、今回の活動の成功が、自国だけでなく、ポリオの再発生のリスクがあるほかの国のクラブと地区への勇気づけとなり、ポリオワクチンと、命を救うその他のワクチンの予防接種の重要性について今後も伝え続けて欲しいと願っています。

115

ポリオは飛び火します

ポリオが撲滅した国や地域でもポリオウイルスの再流入を防ぐ為に、全世界がポリオフリーになる日まで、定期的な予防接種・NIDを通じてのワクチンを投与し続ける必要があります。⇒ポリオは国境をも無視します。

日本においては、念願の不活性化ワクチン導入（2012年9月）され、ポリオが30年以上発症していない状況下なので、今後更にポリオについての認識が低くなっていく傾向になっていくと考えられます。

もう一つの問題が〝ポストポリオ〟という問題があります。

日本においても、ポリオを発生した後にポリオの症状が進行するポストポリオ症候群（PPS）の患者さんが多くいる事です。（PPSの患者数。世界では、400万人～800万人。日本では、5万人いると推定されています）

残念ながら、2012年9月の不活化ワクチン導入寸前の2012年に保育施設で二次感染により、ポリオを発生したお子さんが2名いると報告されています。

ポリオウイルスが土壌、汚水、などに検出される限り、潜在的な感染源となり人の移動に伴い、国境を越えてウイルスを運ばれる可能性があります。

116

【ポリオ撲滅に大きな進展も】

ポリオ症例数の大部分を占めていたパキスタンにおいても大きな進展がみられています。反政府組織やポリオ不信者が多く、ワクチン投与の進まなかったパキスタン北西部においてワクチン投与がこれまでになく進みました

こうした大きな進展は、皆様からの多大なご支援、そして命と隣り合わせの最前線で活躍しているポリオワーカー達の献身的な活動によるものです。

残念な事に、ポリオワーカー、運転手、護衛2人の4人が殺害されたという悲報もありました。これまでに命を落としたポリオワーカーは、過去4年間で少なくとも70人に上ります。

又、パキスタン西部クエッタでも、ポリオワクチンを接種する施設の近くで自爆テロが有り、少なくとも15人が死亡。過激派組織「IS」が犯行声明を出す。

ポリオの予防スタッフは、武装組織からスパイと見なされ、攻撃されるケースが相次ぐ。

ポリオ撲滅活動に貢献し、尊い命を落としてしまった方々のためにも、最後の一押しを強力に進めていく必要があります。

117

ロータリーは1985年に世界からポリオを撲滅すると世界の子どもたちに約束をしました。

〝END POLIO NOW〟

いまこそポリオ撲滅のとき

ご協力を宜しくお願いします。

東京荒川ロータリークラブ
2019年度第2580地区
ポリオプラス委員長
石川幸男

118